

NOVA CORP

FZ-3.0C



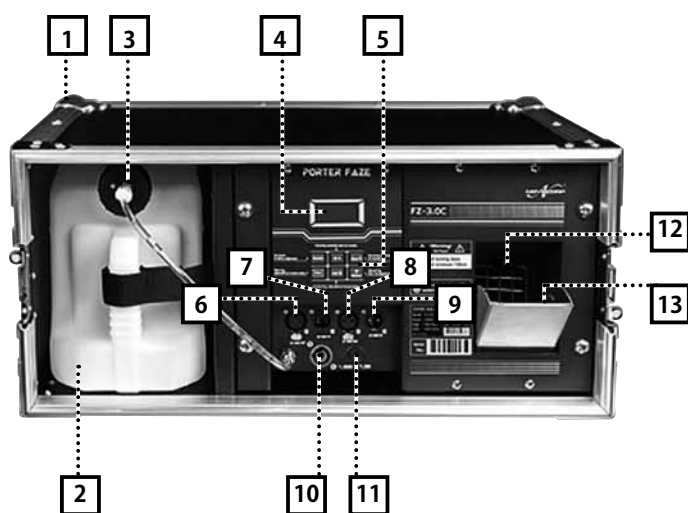
▶ 製品の特徴

この度は、Nova Corp 社製照明機器 "FZ-3.0C" をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

ノバコープ「FZ-3.0C」はツアリングを重視した FAZE マシンです。ヒートアップ時間が一般的な FAZE マシンと較べて圧倒的に短く、およそ 45 秒で完了します。ヒート構造も特徴的なヒーティングパイプを採用しており、従来の FAZE マシンとは比べ物にならない程のドライヘイズを生成します。又、リキッド漏れを防ぐためタンクも特殊な型のもを採用し容易にリキッドを交換出来るため、クイックリリースで外れるコネクターを使用しています。厚手の素材で作られたケースは運送による機器のダメージを防ぎかつリキッドのタンクもズレないように安全を配慮した設計になっており現場使用も考慮したマシンです。

▶ 各部の名称



- 1 フライトケース
- 2 リキッドタンク
- 3 クイックコネクター
- 4 ブルー LCD ディスプレイ
- 5 6 ボタン
- 6 DMX5pin 出力
- 7 DMX5pin 入力
- 8 DMX XLR 3pin 出力
- 9 DMX XLR 3pin 入力
- 10 FUSE ホルダ
- 11 電源入力 Neutrik パワコン
- 12 FOG 出力
- 13 スポンジ

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることが出来る場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気が多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

レーザー



レーザーを使用する場合は
レーザー光を直接見ない。
失明等の原因となる場合があります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。



スモークマシンなど湿気が多い場所での頻繁な使用は避ける。
反射ミラーの劣化など、故障の原因になります。

使用方法

説明

5～100%のファン速度調整により滑らかで安定したフォグ出力制御が可能です。ファンスピード100%では、フォグが薄く均一になり、場所全体に素早く展開させることができます。

- ・ 始めのヒートアップに要する時間は非常に短く、約45秒しかかかりません。アップスプレーまたはフォワードスプレー用に設置できます。
- ・ 5.6リットルの液体タンクのユニークなデザインにより、FZ-3.0Cは作動させたときにオイル漏れの心配がありません。また、クイック・コネクタは、出力が進行中の場合、簡単に交換できます。
- ・ DMX オンボード、3つのDMXモード、1CH、2CH、4CHは、DMXコントローラーによって動作します。多機能動作制御を内蔵しています。
- ・ 内蔵タイマーコントロール、手動コントロール、連続フォグコントロール。FZ-3.0Cには0～45度の調整可能な空気偏向器が装備されています。長い時間動作させることができます。
- ・ セルフクリーニング機能は、30秒後に動作を停止し、残りの液体のチューブを自動的にクリアします。煙が少なくなると、初めて液体を供給するのに時間がかかります。手動フォグの機能は、液体供給を早め、時間を節約するために使用されることが示唆されています。
- ・ 厚手で優れた素材で設計されたフライトケースに収められています。

準備

すべての製品は工場ですべて完全にテストされ、完璧な状態で出荷されます。出荷中に損傷が発生した場合、または部品が不足している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

製品内容

1. 本体 FZ-3.0C
2. 電源コード
3. 製品ユーザーマニュアル

設置

1. 輸送用カートンを開き、慎重に輸送用カートンから装置を取り出します。
2. ノズルの近くの梱包材を取り除いてください。
3. 乾燥した平らな場所にフェイズマシンを置きます。
4. クイックコネクタを液体タンクのキャップに接続します。十分にフタを締めてください。ウォーターベースの専用リキッドを使用してください。
5. 電源プラグをコンセントから適切な電源ソケットに差し込みます。ヒーターが加熱するのを約45秒待ちます。
6. LCDコントロールを使用して操作を制御するか、DMXコントローラーを接続して設定します。
7. 運転中に機械を動かすと、空気が液体パイプに入り込み、霧の吹き出しの滑らかさに影響する可能性があります。これが発生した場合は、「手動」機能を使用して、マシンをしばらくフォグングさせてください。空気がパイプから分散され、通常通りのフォグ出力を回復します。

DMX チャート

1CH モード

チャンネル	DMX 値	機能
1CH	000-004	vol 5% ~ 100% Fan 100%
	005-255	vol 5% ~ 100% Fan 100%

2CH モード

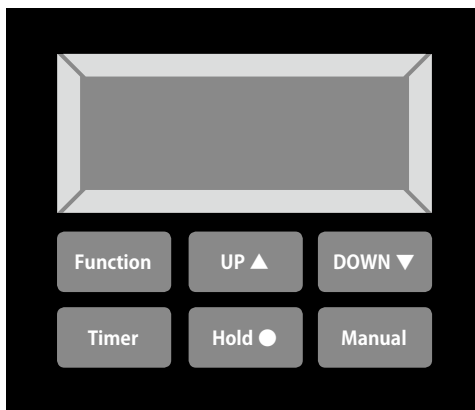
チャンネル	DMX 値	機能
1CH	000-004	OFF
	005-255	Vol 5% ~ 100%
2CH	000-015	OFF
	016-255	FAN 5% ~ 100%

4CH モード

チャンネル	DMX 値	機能
1CH	000-004	OFF
	005-255	Vol 5% ~ 100%
2CH	000-015	OFF
	016-255	FAN 5% ~ 100%
3CH	000-007	OFF
	008-255	デュレーション 3 - 250 秒
4CH	000-009	OFF
	010-255	インターバル 5 - 250 秒

※インターバル設定を0にすると、連続的に出力されます

▶ ファンクションボタン



ファンクションボタン

UP と DOWN ボタンを使って数値を変更してください。

DMX セット： DMX アドレスの設定をします
アドレス値の範囲：001 ～ 512
UP キーまたは DOWN キーを同時に押し、
値を 1 に戻します。

Vol xxx： タイミングフォグおよび連続フォグの
出力を設定する（ボリューム 5 ～ 100%）

Fanxxx： タイミングフォグと連続フォグのファン
速度を設定する（Fan 5 100%）

DUR xxx： カウント時間の設定時間（Duration 3-250s）

INT xxx： タイミングフォグの設定間隔
（Interval 5-250s）

コマンドオプション

UP： 数値を上げるためのボタン

Down： 数値を下げるボタン

TIMER： タイミングフォグの開始ボタン

HOLD： 連続フォグの開始ボタン

MANUAL： 手動フォグの開始ボタン。手動解除、最大出力、
最大ファン速度フォギングを解除する

セルフクリーニング機能：フォグマシンが遅れて停止する 30
秒間、自動的に配管に残っている液体をきれいにします。電
源を入れたときに液体の供給を迅速にしたい場合は、マニ
ュアルフォグ機能を使用して設定値を自動的に保存します。
「Manual」を押してリセットしてください。

▶ 操作

操作 1. 主電源コードをファイズ機から適切な電源ソケットに
差し込みます。

**VERSION:
1.0**

バージョン：主電源オン。

**Warming
Up.....**

2 秒後にウォーミングすると、作業
状態に切り替わります。

4. 加熱素子が加熱するのに約 45 秒待ちます。

**DMX set
Addr-xxx**

加熱後、直前の機能が表示されます。
最後の電源オフ前に DMX セットリ
ストが表示されます。

ヒーティングが終了したらそれぞれの操作モードに従ってくだ
さい。

備考

風口が湿気る可能性を減らすために、ソフトウェアは風の値と
フォグの値を検出し、適切な調整を行います。

フォグ値を 100% に調整したときの表示制御モード（タイミン
グフォグ、連続フォギング、マニュアルフォギング）または
DMX 制御モードでは、風量値（5% に設定されていても）を自
動的に 30% に調整します。風量値が 5% に調整されると、ソ
フトウェアは自動的にフォグの値を 50% に下げます。風量が
小さすぎて霧が多すぎるため風の口が湿ってしまうのを防ぎま
す。

タイミングフォグ

DUR. xxx
INT. xxx

(1) Timer ボタンを押し、フォグ状態に入ります

Dura xxx
-->Intv xxx

(3) [UP] [DOWN] ボタンを押し、インターバル (間隔) を設定してください。3 秒 ~250 秒

さらに、Function ボタンを押しタイミング設定メニューに入ります。タイミングフォグを停止するのも同様です。

Dura xxx
INT. xxx

(4) タイミングを設定したら Timer を押しタイミングをリスタートします。

--> Dura xxx
Intv xxx

(2) [UP] [DOWN] ボタンを押し、持続時間を設定してください。3 秒 ~250 秒

(stop)
Cleaning

(5) 再度 Timer を押しとタイミングフォグを停止します。30 秒遅れて停止し、自動的にチューブ内のリキッドをクリーニングします。

再度 Function ボタンを押し Interval 値設定に切り替えます。タイミングフォグを停止させたままにしておくのも同様の操作です。

DMX set
Addr-xxx

(6) セルフクリーニング後、元のメニューに戻ります。

NOTE

電源を入れたときに液体供給を迅速にしたい場合は、マニュアルフォグ機能を使用すると役立ちます。

タイミングフォグ中に「ホールド」を押すと連続的な動作に切り替えることができます。

連続フォグ

-->Vol xxx
Fan xxx

(1) 「ホールド」を押すと連続的なフォギング Vol xxx の状態になり同時に開始します。

(stop)
Cleaning

(4) 再度 [Hold] ボタンを押すと停止します。30 秒遅れて停止し、自動的にチューブ内のリキッドをクリーニングします。

-->Vol xxx
Fan xxx

(2) [UP][DOWN] ボタンを押し、フォグボリュームを調整します。5~100%

DMX set
Addr-xxx

(5) セルフクリーニング後、元のメニューに戻ります。

[Function] を押しファンのスピードを調整します。

Vol xxx
-->Fan xxx

(3) [UP][DOWN] ボタンを押し、ファンスピードを調整します。5~100%

(6) "タイマー"に切り替える連続的のフォグを実行するときに、タイミングフォグに直接切り替えることができます。タイミングフォグを実行するときは、手動フォグの下で「Manual」を押すことができます。

マニュアルフォグ

**Manual
V100 F100**

加熱が終了している状態で Manual を押し続けると機器は最大出力・最大風力で動作します。離すと元に戻ります。

DMX コントロール

(1) DMX 512 を接続してください。(図 1 の G または I) に接続してください信号ケーブルの極性が正しいことを確認してください DMx ソケットが有効 DMx 信号を受信すると、DMx 制御モードに自動的に入ります。

(2) 3 つの DMX モードがあります。1CH、2CH、4CH の場合、機能別にモードを選択してください。

**1ch. Axxx
Vxxx Fxxx**

(3) "Up" または "Down" ボタンを押して DMX アドレスを設定します

**1ch. Axxx
Vxxx Fxxx**

(4) 以下に表示されるのは、現在の DMX 制御されたフォグ出力量値とファンの速度です。

**2ch. Axxx
Vxxx Fxxx**

(5) または、「機能」を押して 2CH モードに切り替え、適切な DMX アドレス設定を行います。

**4ch. Axxx
Vxxx Fxxx**

(6) 適切な DMX アドレス設定を行うには、「Function」を押して 4CH モードに切り替えてください。

**Vxxx Fxxx
Dxxx Ixxx**

(7) 4CH モードでは、2 秒間の操作者の操作が無い場合、自動的に以前の状態に戻ります。

上段 DMX 制御された音量値およびファン速度、
下段 DMX デュレーションとインターバルを表示。

その他の使い方

**DMX set
Addr-xxx**

DMX の前の状態を設定するには、[Function] を選択して機能の選択を直接入力します。

***Hold
Timeset**

[UP][DOWN] ボタンを押し、[*] に移動します。"Function" を押して、x で選択した機能を入力し、前のタイミングフォグモードまたは連続的なフォグモードのようなメニューを設定します。

**DMX set
Addr-xxx**

DMX 設定 2 秒間の操作がない場合、自動的に前の状態に戻ります。

**4ch. Axxx
Vxxx Fxxx**

(8) もう一度 "Function" を押すと、4ch モードと DMX アドレス設定に戻ります。

(9) DMX モードを 1ch、2ch、4ch のいずれかに切り替えてください。

(10) 別の信号ケーブルの一端を最初の FZ-3.0C の背面にある出力ソケットに差し込みます。信号ケーブルのもう一方の端を 2 番目の FZ-3.0C の背面にある入力ソケットに差し込みます。必要に応じて、より多くのフォグマシンをリンクするために同じ手順に従ってください。全体のリンクはデイジーチェーンです。

(11) DMX チャンネルチャートを参照して、関連する設定を行います。DMX コンソールで FZ-3.0C の操作を開始します。手動でフォグを発生させる機能を使用して、機械の電源を入れたときにリキッド供給を促進したい場合に役立ちます。

手動フォグ機能以外の DMX 信号を受信すると、すべての内蔵機能が無効になります。DMX 信号が解除されると、ディスプレイでの制御モードに復帰します。

▶ トラブルシューティング

トラブルシューティングこのトラブルシューティングガイドは、簡単な問題の解決に役立ちます。問題が発生した場合は、解決策が見つかるまで、以下の手順を順番に実行してください。

装置が正しく動作したら、以下の手順を実行しないでください。問題が解消されない場合は、技術者が「電源が供給されているが、フォグが出ないこと」を確認してください。

1. 電源を確認します。適切な電圧で装置を接地された電源ソケットに接続します。
2. 電源からフォグマシンを外します。ヒューズを同じタイプのものに交換してください。
3. タンクに十分な液体を入れます。
4. ポンプが作動しているかどうかを確認します（液体の流れの有無）。
5. ヒーターが加熱しているかどうかを確認します（パネルに触

れてウォーミングしているかどうか確認してください）。
7. DMX アドレスの設定を確認してください。

運転中に機械を動かすと、液体パイプに空気が入り、フォグ出力の滑らかさに影響する可能性があります。これが発生した場合は、「マニュアル」機能を使用して、マシンをしばらくフォグングさせてください。空気がパイプから分散される、通常のフォグを回復します。ローフォグが放出されているか、騒々しくフォグがかかっている場合、すぐにプラグを抜きます。パイプ内に空気が入っている場合、液体が流れている場合、プラグインし直してください。原因が不明な場合は、損傷を避けるために動作を停止し、冷却し、購入された販売店に修理の相談をしてください。

その他の異常

Heater Overheat

点滅してこの状態を示す、ヒーターが熱すぎる、またはサーモセンサーが切断されたことを示します

No Fluid

点滅してこの状態を示している、液体を出していない、または液体をポンピングしていないことを意味する。保守点検を行う前に、電源が切断され、電源コードが抜かれ、機械自体が冷却されていることを確認してください。

No Heating

点滅してこの状態を示し、加熱できないことを意味します

メンテナンス

保守を行う前に、電源が OFF になっていること、電源コードが抜かれていること、マシン自体が冷えることを確認してください。技術者がメンテナンスを行う必要があります。

1. 液体が汚れていないことを確認してください。タンクのキャップを常に清掃または交換してください（タンクのキャップを直接交換してください）。このキットにはクイックコネクター、キャップ、パイプ、フィルターが含まれています
2. ノズルを清潔にするためにツールを定期的を使用し、ノズルを妨げないようにしてください。
3. フライトケースのサイドエアフィルターは定期的にサイドカバーを取り外し、エアフィルターを取り外してクリーニングの後に乾燥させてください。
4. 長期間使用すると、通気孔内のスポンジを定期的に清掃されたり新しいスポンジと交換されることを推奨します。

スペック

- ・ 電源：AC100V 50/60Hz
- ・ 消費電力：1500w
- ・ ヒーター：1400w
- ・ 消費量：15,000ml / min
- ・ ヒートタイム：45 秒
- ・ タンク容量：5.6L
- ・ DMX：1 / 2 / 4 ch
- ・ 寸法： L533 x W387 x H249 mm
- ・ 重量：21.3 kg

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。
発売元：IDE コーポレーション有限公司 〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24